

歩いてみませんか？

大聖寺の由来

大聖寺の地名は白山五院のひとつ大聖寺の寺号に由来し、大正寺・大勝寺とも書かれ、古くから北陸道越前との国境を押さえる要地として、錦城山には南北朝以来、城があった。戦国時代は、加賀一向一揆の防衛拠点であったが、関ヶ原合戦に際し、西軍に味方した城主山口玄蕃は、前田利長軍の前に敗れなく落城討死した。その後、金沢前田家が領有し、三代利常の時、三男利治を大聖寺城主とした。利治は、錦城山麓に諱庭を構え、以後十四代230年にわたって城下町として政治経済の中心地となった。

